第 20 講 【持続可能な国土編】日本の国土

PART 1 現代の日本

Chapter 1 戦後の日本社会

目標
1970 年代は，どのような時代だったのだろう。
1990 年代は，どのような時代だったのだろう。

1 戦後〜1960年代の社会

社会 人口	・**終戦**による社会の安定。 →戦後には，〔　　　　　　　　　　〕の到来。 →その後，女性の社会進出などを背景に，〔　　　　　〕は低下。
工業	・**工業化**の開始。**軽工業**から〔　　　　　　　〕へ。 →〔　　　　　〕が開発され，**太平洋ベルト**が形成される。
都市	・**三大都市圏**に人口が集中し，**郊外**の開発が開始。**ニュータウン**の建設。
エネルギー	・**エネルギー革命**。〔　　　〕への依存度が高まり，輸入が増加。
経済 貿易	・1955年〜〔　　　　　　　　　〕。 ・1968年 GDPが**世界第**〔　〕**位**に成長。

2 1970年代の社会

社会 人口	・〔　　　　　　　　　　〕の発生。 ・〔　　　〕の社会問題化。 ・高齢者の割合が増加し，**高齢化社会**に突入。
工業	・〔　　　　〕・**石油化学工業**の停滞。 ・〔　　　　〕**工業**の興隆。
都市	・**都市圏**での**雇用減少**→〔　　　　　　〕**現象**の発生。
エネルギー	・エネルギー政策の転換。 →〔　　　　　　　〕への注目が集まる。
経済 貿易	・**高度経済成長期**の終了。 ・アメリカ合衆国やヨーロッパへの**輸出額の増加**。 ・牛肉・オレンジの自由貿易の開始。

3　1980年代の社会

社会 人口	・賃金水準の上昇。**円高**の進行。 →〔　　　　　　　　　〕の到来。 ・1989年 合計特殊出生率において，「1.57ショック」。少子高齢化の深刻化。
工業	・**自動車工業**の興隆。 →アメリカ合衆国やヨーロッパで〔　　　　　　　　〕の開始。
都市	・**東京大都市圏**への**一極集中**が強まる。 →都市圏内部では，〔　　　　　　　　　〕**現象**の発生。
経済・貿易	・アメリカ合衆国やヨーロッパとの〔　　　　　　　　〕の深刻化。

4　1990年代の社会

社会 人口	・**バブル経済の崩壊**。 ・高齢者の割合がさらに高まり，**高齢社会**へ突入。
工業	・**労働集約型工業**で, 工場の〔　　　　　　　〕が加速。 ・一方で，国内は〔　　　　　　　　　　〕。
都市	・地価の下落，〔　　　　　　〕の進展。 →人口の**都心回帰**が顕著となる。

5　2000年代の社会

社会 人口	・2008年 **リーマンショック**。 ・2008年 **人口減少**の開始。 ・2011年 **東日本大震災**（**東北地方太平洋沖地震**）。
工業	・**第**〔　　〕**次産業**への構造転換が進む。 →都心部を中心に，**ICT産業**などの興隆。
都市	・**東京大都市圏**への**一極集中**の一方で，地方の**人口減・雇用減**の深刻化。
エネルギー	・〔　　　　　　　　　　　〕の稼働停止。 →再生可能エネルギーの開発の加速。

まとめ

オイルショックの発生や公害の社会問題化で経済成長が鈍化。鉱工業や石油化学工業は停滞したが、自動車工業は大きく成長を遂げた。
バブル経済の崩壊で，安価な労働力を有する海外へ多くの工場が移転。国内では都心で再開発が始まり，人口が都心へ回帰した。

Chapter 2　現代日本の諸課題

目標　現代の日本の人口動態から，将来どのような問題が起こりうるのだろう。
現代の日本のエネルギーにおける課題とは，何だろう。

1　現代の日本の人口問題

・戦後には社会が安定し，高い出生率を経験したが，〔　　　　　　　　　　　　〕以降は，基本的には〔　　　　　　　　　〕が進行している。

・**2008年**に総人口約**1億2,800万人**でピークを迎えて以降，**減少傾向**。2020年から21年の1年間で，人口は**約65万人**減少した。

・将来的には，**若年層**の減少により，**労働者の不足**や，**経済規模の縮小**が懸念される。

<現代の日本の人口動態>（2019年）

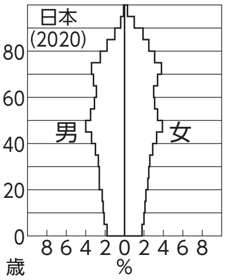
・総人口：**約1億2,450万人**

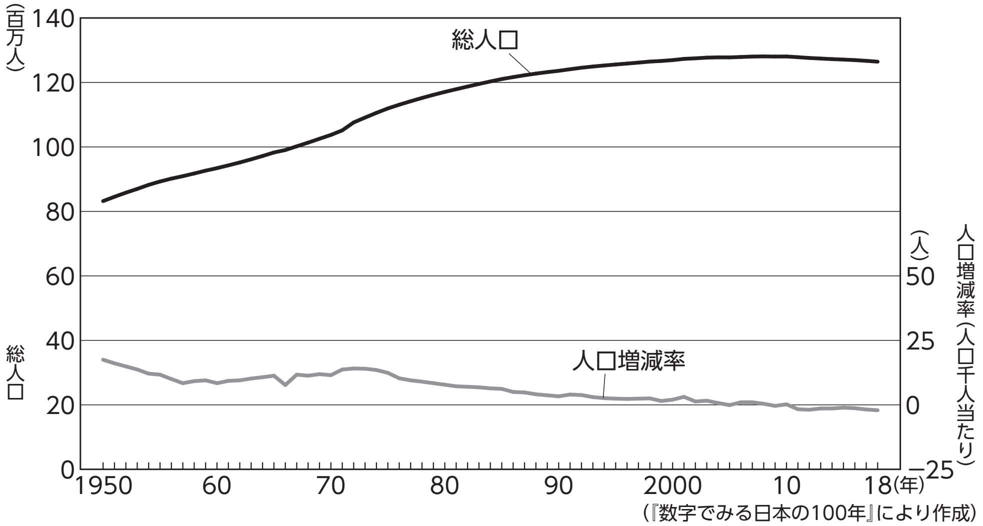
・出生率：0.7%

・死亡率：1.11%

・自然増加率：〔　　　　　〕%

・合計特殊出生率：1.36





（『数字でみる日本の100年』により作成）

日本の総人口・人口増減率の推移

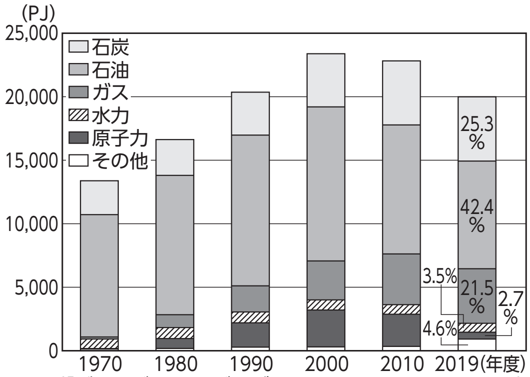
2 現代の日本のエネルギー問題

・かつては国内で産出する〔　　　　　〕を主なエネルギー源として使用していたが，高度経済成長期には安価な輸入〔　　　　　〕への依存度が急激に高まった（〔　　　　　　　　　　　　　〕）。

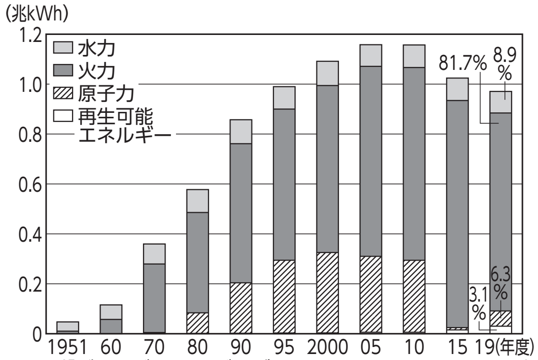
・二度の〔　　　　　　　　　　　　　　　〕の発生や，〔　　　　　〕問題の顕在化をきっかけとする環境意識の高まりから，1970 年代に**エネルギー政策**を転換。

→クリーンエネルギーとして〔　　　　　　〕**発電所**の新設が相次いだが，2011 年の**東北地方太平洋沖地震**に伴う原子力発電所事故発生以降は，国内の多くの原子力発電所が**操業停止**となっている。

→現在では，エネルギー自給率は低く（約 12%），輸入資源に頼った〔　　　　　〕**発電**の割合が再び増加。一方で，太陽光発電など**再生可能エネルギー**の普及も進められる。**メタンハイドレート**など，新エネルギーの実用化に向けた研究開発も盛ん。



（『データブック オブ・ザ・ワールド2022』により作成）
日本の一次エネルギー供給構成



（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）
日本の電源別発電割合

まとめ
労働人口が減少することで産業が縮小，経済規模も縮小する可能性がある。
停止した原子力発電に代わる発電方法を見つけることなど。

第 20 講　PART 1　確認問題

1　戦後～ 1960 年代の日本について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 戦後には社会が安定し，ベビーブームが起こった。
② 1955 年以降は高度経済成長期に入り，1968 年には GDP が世界第 2 位になった。
③ 多くの人口が都市圏に流入し，都心部にニュータウンがつくられた。
④ 貿易に便利な臨海部に製鉄所や石油化学コンビナートがつくられた。

2　1970 年代の日本について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 二度のオイルショックや公害の社会問題化などを背景に，高度経済成長期は終了した。
② 石油の代替として，原子力発電への注目が集まった。
③ 大都市圏への人口流入が続き，地方では人口減少が顕著となった。
④ 自動車工業が発達し，貿易が活性化した。

3　1980 年代の日本について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① バブル景気が到来した。
② 欧米への自動車輸出が増加し，貿易摩擦が問題となった。
③ 東京都心部の地価が高騰し，郊外に人口が流れた。
④ 第 2 次ベビーブームが生じた。

4 2000 年代の日本について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 2008 年のアジア通貨危機と 2011 年の東日本大震災により，日本経済は大きな打撃を受けた。
② 国内では，第三次産業へ産業構造の転換が進んだ。
③ 東京への一極集中が続く一方，地方の人口減少は深刻である。
④ 二酸化炭素排出量削減や，再生可能エネルギーの開発が盛んに行われる。

5 現在の日本の人口の自然増加率として，最も近い数値はどれか。

① 4％　　② 0.4%
③ -0.4%　　④ -4%

6 現在の日本の人口について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 現在の日本の人口は約 1 億 2,450 万人である。
② 合計特殊出生率は，1.57 で先進国の中では高い値である。
③ 現在，死亡率は出生率よりも高い。
④ 将来的には，若年層の減少による労働者の不足が懸念されている。

7 現在の日本において，最も発電量の多い電源別発電方法はどれか。

① 火力発電　　② 原子力発電
③ 再生可能エネルギーによる発電　　④ 水力発電

8 現在の日本のエネルギー供給について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 化石燃料のほとんどは外国からの輸入でまかなっている。
② 現在，最も使用割合の高い一次エネルギーは，石炭である。
③ 東北地方太平洋沖地震に伴う事故により，多くの原子力発電所が操業停止した。
④ メタンハイドレートなど，新エネルギーの研究開発が進められている。

第 20 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：③

高度経済成長期には三大都市圏を中心に雇用が増加し，都市圏に人口が集中した。人口増加を受け入れるため，また，都市内部で住環境悪化が問題となった結果，**郊外**に**ニュータウン**がつくられた。

2 解答：③

高度経済成長期が終わったあとは都市圏での雇用が減少し，**U ターン現象**が起こった。一時的に人口が増加した地方もある。

3 解答：④

第 2 次ベビーブームが生じたのは，**1970 年代前半**。1980 年代には女性の社会進出などを背景に，**少子高齢化**が加速した。

4 解答：①

2000 年代には，2008 年の**リーマンショック**と 2011 年の東北地方太平洋沖地震により経済に大きな打撃を受けた。

5 解答：③

現在の日本の人口の自然増加率は **-0.41％**である。出生率が 0.7%，死亡率が 1.11%であり，年々人口が減少していることがわかる（2019 年）。

6 解答：②

日本の**合計特殊出生率**は先進国の中でも**低い水準**にあり，人口減少が見られる。

7 解答：①

現在最も発電量の多い電源別発電方法は**火力発電**で，全体の 80%強を占める（2019 年）。

8 解答：②

現在最も多く使用されている一次エネルギーは，**石油**。日本は西アジアの国々から，多くの石油を輸入している。